

～令和6年度実績及び令和7年度以降の予定～

事業名	①利用者支援事業	担当課	こども課 母子保健課	第3期計画該当ページ
				48ページ

1.計画内容

事業概要	子育て家庭や妊産婦が必要な支援を行うため、子育てについての相談に面接・電話で応じるとともに、産前・産後の保護者に子育てケアプランを作成します。
------	---

2.実績値

			令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
計 画	量の見込み 確保方策 (箇所)	こども家庭センター型	※1	1	1	1	1	1	1
		基本型・特定型	※1	1	3	4	4	5	5
		地域子育て相談機関	－	－	3	4	4	5	5
実 績	量の見込み 確保方策 (箇所)	母子保健型	1	1					
		基本型・特定型	1	1					
		地域子育て相談機関	－	－					
※子育て相談件数			187	191					
※子育てケアプラン作成件数			1,289	1,337					

※令和5年度は母子保健型

3.実施状況と評価、今後の取組内容

評価	年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	評価区分	B	B	
令和6年度 実施状況	【母子保健型】 令和6年度より、母子保健型からこども家庭センター型として母子保健課とこども家庭支援センターがさらに連携を強化し、切れ目のない相談支援を行っています。 【基本型・特定型】 子育て支援センター内において実施し、相談内容を聞いた上で、関係機関と連携を取り、担当機関を案内し、相談者の精神的安定を図りました。			
令和7年度事業内容と 今後の課題	【母子保健型】 引き続き、こども家庭センター型として、母子保健分野、児童福祉分野が連携しながら支援にあたっていきます。 【基本型・特定型】 引き続き相談者の内容に合わせ、適切な支援につなぐことができるよう努めるとともに、関係機関との情報共有や連携強化を図ります。 【地域子育て相談機関】 子どもに関する新たな相談体制構築に向けた基本計画に基づき、令和7年10月から子育て支援センター、東野及び高洲児童センターを地域子育て相談機関とするため、開始に向けてこども家庭センターとの調整を進めます。こども家庭センターを軸に、地域子育て相談機関と関係機関との連携を強化することが今後の課題です。			

※評価区分 A: B評価に加え**成果を向上させる取り組み**を実施した場合
B: 事業目標を達成できた場合(80%～100%)
C: 事業目標を一部達成できた(できなかった)場合(80%以下)
D: 事業未実施、廃止、統合
※令和4年度以降の基準ですので、それまでの評価基準とは異なっています。

事業名	②地域子育て支援拠点事業	担当課	こども課 保育幼稚園課	第3期計画該当ページ
				49ページ

1.計画内容

事業概要	子育て支援センターや、認可保育所に併設されている地域子育て支援センター、つどいの広場で、親子が交流できる場や子育てに関する相談・情報を提供します。
------	---

2.計画値・実績値

		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
計画	量の見込み(子ども:人日)	21,372	23,030	27,632	27,541	28,236	27,529	26,694
	確保方策(箇所)	11	11	11	11	11	11	11
実績	量の見込み(子ども:人日)	31,033	28,837					
	確保方策(箇所)	11	11					
実績 - 計画	量の見込み(子ども:人日)	9,661	5,807					
	確保方策(箇所)	0	0					
※実績(保護者:人日)		28,103	26,256					

3.実施状況と評価、今後の取組内容

評価	年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	評価区分	B	B	
令和6年度 実施状況	子育て支援センター・地域子育て支援センターの運営を、2か所は直営、7か所は民間で行っています。 令和6年度延べ利用者数(子ども):28,837人。 ※各支援センター別は下記のとおり。 浦安市子育て支援センター:9,788人(直営) 高洲保育園子育て支援センター:2,671人(直営) 海園の街保育園子育て支援センター:893人 浦安駅前保育園子育て支援センター:1,615人 入船北保育園子育て支援センター:1,307人 しおかぜ保育園子育て支援センター:172人 ポピンズナーサリースクール新浦安子育て支援センター:1,277人 弁天保育園子育て支援センター:2,170人 愛和元町保育園子育て支援センター:697人 また、市内に2ヶ所あるつどいの広場の延べ利用者数(こども)は、8,247人で施設別では、 堀江つどいの広場:5,302人、明海つどいの広場:2,945人の利用となっています。			
令和7年度事業内容と 今後の課題	引き続き11箇所で実施していくとともに、日常的な場所として多くの子育て家庭との繋がりの場や属性・世代を問わない地域交流ができる場を確保し、関係機関との情報共有や、週末等に育児参加促進に関する講習会を実施します。			

※評価区分 A:B評価に加え**成果を向上させる取り組み**を実施した場合
 B:事業目標を達成できた場合(80%~100%)
 C:事業目標を一部達成できた(できなかった)場合(80%以下)
 D:事業未実施、廃止、統合
 ※令和4年度以降の基準ですので、それまでの評価基準とは異なっています。

事業名	③一時預かり事業 1)幼稚園型認定こども園における在園児を対象とした預かり保育	担当課	保育幼稚園課	第3期計画該当ページ
				50ページ

1.計画内容

事業概要	家庭保育等を行っている家庭で一時的にこどもの保育が困難になった場合に、保育所等で一時預かり等を行います。
------	--

2.計画値・実績値

			令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
計 画	①量の見込み （人日）	1号認定による利用	5,469	6,154	6,811	6,215	6,016	5,456	4,661
		2号認定による利用	39,651	41,303	36,134	36,438	37,026	35,455	33,196
	②確保方策	人日	80,190	80,190	72,900	72,900	72,900	72,900	72,900
		箇所	11	11	10	10	10	10	10
	②-①（人日）		-	-	29,955	30,247	29,858	31,989	35,043
実 績	量の見込み （人日）	1号認定による利用	7,012	5724					
		2号認定による利用	30,799	28066					
	確保方策	人日	80,190	80,190					
		箇所	11	11					
実績—計画		1号認定による利用	1,543	-430					
		2号認定による利用	-8,852	-13,237					
		確保方策：人日	0	0					
		確保方策：箇所	0	0					
※在園児数（人）			749	619					

3.実施状況と評価、今後の取組内容

評価	年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	評価区分	B	A	
令和6年度 実施状況	令和6年度一時預かり利用者数(1号認定) 若草認定こども園 523人日、みなみ認定こども園 360人日、神明認定こども園 451人日、北部認定こども園 695人日、見明川認定こども園 486人日、堀江認定こども園 642人日、美浜南認定こども園 210人日、入船南認定こども園 263人日、舞浜認定こども園 753人日、美浜北認定こども園 229人日、明海認定こども園 1.112人日			
令和7年度事業内容と 今後の課題	1園休園、10園で継続実施していきます。			

※評価区分 A:B評価に加え**成果を向上させる取り組み**を実施した場合
B:事業目標を達成できた場合(80%~100%)
C:事業目標を一部達成できた(できなかった)場合(80%以下)
D:事業未実施、廃止、統合
※令和4年度以降の基準ですので、それまでの評価基準とは異なります。

事業名	③一時預かり事業 2) 保育園・幼稚園・一時預かり専用施設で実施する一時預かり、ファミリー・サポート・センター（就学前）、子育て短期支援事業（トワイライトステイ等）	担当課	こども課 保育幼稚園課	第3期計画該当ページ
				51ページ

1.計画内容

事業概要	家庭保育等を行っている家庭で一時的にこどもの保育が困難になった場合に、保育所等で一時預かり等を行います。
------	--

2. 計画値・実績値

			令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
計 画	①量の見込み(人日)		20,505	23,270	25,091	25,067	25,684	25,089	24,363
	②確保方策 (人日)	保育園・幼稚園・一時預かり専用施設	49,086	49,086	48,884	48,682	49,086	48,884	49,490
		ファミリー・サポート・センター（就学前）	4,339	4,509	2,011	2,005	2,055	2,004	1,943
		子育て短期支援事業（トワイライトステイ等）	2,520	2,513	2,513	2,513	2,520	2,513	2,513
	②-①(人日)		35,440	32,838	28,317	28,133	27,977	28,312	29,583
実 績	量の見込み(人日)	保育園・幼稚園・一時預かり専用施設	20,577	22,671					
		ファミリー・サポート・センター（就学前）	4,352	2,311					
		子育て短期支援事業（トワイライトステイ等）	762	894					
	確保方策(人日)	保育園・幼稚園・一時預かり専用施設	48,884	49,086					
		ファミリー・サポート・センター（就学前）	4,339	4,509					
		子育て短期支援事業（トワイライトステイ等）	2,520	2,513					
実績—計画 (人日)	量の見込み		72	-599					
	保育園・幼稚園・一時預かり専用施設		-202	0					
	ファミリー・サポート・センター（就学前）		0	0					
	子育て短期支援事業（トワイライトステイ等）		0	0					
※実利用者数	保育園・幼稚園・一時預かり専用施設		1,790	2748					
※実績(送迎のみ)	ファミリー・サポート・センター(子ども)		827	771					
※実績(送迎と預かり)			492	582					
※実績(預かりのみ)			856	351					
※実利用者数	子育て短期支援事業(トワイライトステイ等)		99	92					
※施設数	保育園・幼稚園・一時預かり専用施設		16	16					
	子育て短期支援事業(トワイライトステイ等)		1	1					

3.実施状況と評価、今後の取組内容

評価	年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	評価区分	B	B	
令和6年度 実施状況	【保育園・幼稚園・一時預かり専用施設】 令和6年度利用状況(延べ人数)22,671人 東野保育園1,004人、高洲保育園985人、弁天保育園2,051人、浦安駅前保育園564人、しおかぜ保育園118人、ポピンズナーサリースクール新浦安926人、愛和元町保育園933人、ポピンズナーサリースクール浦安240人、新浦安きらきら保育園1,192人、渋谷教育学園浦安こども園453人、富岡すまいるルーム2,786人、日の出すまいるルーム3,468人、青葉すまいるルーム3,743人、保育室アリエ1,997人、保育室ゆるり1,052人、明海つどいの広場子育てテラスふらっと1,159人 【ファミリー・サポート・センター事業(就学前)】 主な活動内容として、保育施設への送迎と預かり、預かりのみの支援、保護者同伴の育児支援などを行い、子育て世帯の育児負担の軽減に努めました。 令和6年度利用延べ人数1,704人(その他育児支援等607人) 【子育て短期支援事業(トワイライトステイ等)】 利用者数が増えており、レスパイトでの理由が増えていることから、こども家庭支援センターと連携しながら、一時的に養育が困難となった子育て家庭を支援することができました。			
令和7年度事業内容と 今後の課題	【ファミリー・サポート・センター事業(就学前)】 まかせて会員を増やすことが課題であることから、引き続き、援助の担い手の人材養成や会員の確保に努めるとともに、提供会員及び依頼会員の双方が安心のもとに継続して活動・利用できるよう、円滑かつ適切な利用調整を行っていきます。 【子育て短期支援事業(トワイライトステイ等)】 令和2年度の事業開始以降、利用者が増加しており、レスパイトでの利用が増えていることから、引き続きこども家庭支援センターと連携しながら事業を実施していきます。			

※評価区分 A: B評価に加え成果を向上させる取り組みを実施した場合 B: 事業目標を達成できた場合(80%～100%) C: 事業目標を一部達成できた(できなかった)場合(80%以下) D: 事業未実施、廃止、統合 ※令和4年度以降の基準ですので、それまでの評価基準とは異なっています。
--

事業名	④乳児家庭全戸訪問事業	担当課	母子保健課	第3期計画該当ページ
				52ページ

1.計画内容

事業概要	生後4か月までの乳児のいるすべての家庭を対象に、新生児訪問や母子保健推進員の訪問活動を通して、子育て支援に関する情報提供等を行うとともに、親子の心身の状況や養育環境等の把握を行い、支援が必要な家庭に対して助言や適切なサービス提供を行います。
------	--

2.計画値・実績値

		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
計画	量の見込み(0歳人口推計:人)	1,152	1,171	973	1,008	1,051	1,063	1,077
	訪問率(%)	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
実績	量の見込み(出生数:人)	961	937					
	訪問率(%)	92.9%	94.5%					
	訪問実件数(人)	893	886					
実績-計画(訪問率:%)		-7.1%	-5.5%					
※母子保健推進員訪問実件数(人)		778	775					

3.実施状況と評価、今後の取組内容

評価	年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	評価区分	B	B	
令和6年度実施状況	【新生児・妊産婦訪問】 助産師・保健師により生後0～3か月児のいる家庭への訪問を行っています。母親が心身ともに健康な生活が送れるように、また、乳児の健康状態を把握するとともに、家庭での子育てが円滑に行われるよう、相談や育児手技等の指導をしています。年10回のカンファレンスにて、スタッフ間での情報共有・連携を行いました。 【母子保健推進員】 生後2～3か月のお子さんのいる家庭に訪問。対象917件中、訪問件数775件となり、訪問率84.5%。子育てをしている家庭と行政のパイプ役として、生後2～3か月児のいる家庭への訪問活動等を通して、育児の不安軽減に努めています。定例会を年に11回実施することに加えて、外部機関での研修も参加し、知識の向上・情報共有等を行いました。			
令和7年度事業内容と今後の課題	【新生児・妊産婦訪問】 新生児・妊産婦訪問指導は、生後2～3か月の訪問が多い現状ですが、育児不安・困難感を感じる事が最も多いのは産後1か月までの新生児期であるため、産院や他事業との連携を密にし、早めに連絡し訪問につなげるよう努めます。令和7年6月より妊婦訪問支援事業が開始となり、支援が必要な妊婦に対して委託助産師等が訪問支援を行います。 【母子保健推進員】 引き続き、年11回の定例会に加え、外部機関での研修も参加し、知識の向上・情報共有等を行っています。母子保健推進員は毎年、定年等による退職者が見込まれ、新しく依頼される母子保健推進員をどのようにして確保するかが課題となっています。			

※評価区分 A: B評価に加え**成果を向上させる取り組み**を実施した場合
 B: 事業目標を達成できた場合(80%～100%)
 C: 事業目標を一部達成できた(できなかった)場合(80%以下)
 D: 事業未実施、廃止、統合
 ※令和4年度以降の基準ですので、それまでの評価基準とは異なります。

事業名	⑤養育支援訪問事業	担当課	こども家庭支援センター	第3期計画該当ページ
				52ページ

1.計画内容

事業概要	家庭相談員や保健師等が、乳児家庭全戸訪問事業等により把握した子育てへの不安感・孤立感が高い家庭や、児童虐待に至る可能性が高いと考えられる家庭、若年保護者の家庭へ訪問し、相談に乗ることで育児不安の解消を図るとともに、状況に応じ家事等の養育技術の指導・提供を行います。
------	--

2.計画値・実績値

		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
計画	量の見込み(訪問世帯数)	150	150	125	129	132	125	128
	量の見込み(延べ訪問世帯数)	600	600	450	482	460	456	462
実績	量の見込み(訪問世帯数)	115	112					
	量の見込み(延べ訪問世帯数)	432	327					
実績—計画		訪問世帯数	-35	-38				
		延べ訪問世帯数	-168	-273				

3.実施状況と評価、今後の取組内容

評価	年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	評価区分	B	B	
令和6年度 実施状況	令和6年4月にこども家庭センターを設置し、母子保健課との連携を深め、母子保健と児童福祉が一体となって事業を進めています。 養育支援が必要な家庭に訪問し、養育に関する相談に応じ指導や助言を行いながら、育児不安の解消、養育技術の提供を行っています。特に支援を必要とする場合は、継続的に頻回に訪問し、相談に応じることで養育者の精神的安定を図っています。			
令和7年度事業内容と 今後の課題	こども家庭センターとしてこどもを取り巻く環境を広く把握し、場合により他の関係各課との調整を図り、より一層児童虐待防止につながるよう事業を進めていきます。 自らの支援ニーズに気づいていない家庭や、自ら支援を求めることが困難な家庭などは支援につながりにくい状態があります。そのため、妊産婦・子育て家庭と接点を有し得る医療・福祉の多様な関係機関との連携を図りながら、できる限り早期発見・把握して具体的な支援を届けられるよう積極的な働きかけが必要となってきています。			

※評価区分 A: B評価に加え**成果を向上させる取り組み**を実施した場合
 B: 事業目標を達成できた場合(80%~100%)
 C: 事業目標を一部達成できた(できなかった)場合(80%以下)
 D: 事業未実施、廃止、統合
 ※令和4年度以降の基準ですので、それまでの評価基準とは異なります。

事業名	⑥ファミリー・サポート・センター (就学児)	担当課	こども課	第3期計画該当ページ
				53ページ

1.計画内容

事業概要	育児の援助を受けたい人(おねがい会員)、育児の援助を行いたい人(まかせて会員)、両方とも希望をする人(どっちも会員)が、地域の中で支えあいながら子育てを行う会員組織です。会員相互の援助活動により、子育てをする家庭の育児を支援します。
------	--

2.計画値・実績値

			令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
計 画	①量の見込み （人日）	低学年	1,015	1,058	609	587	549	522	492
		高学年	394	512	193	193	192	186	179
	②確保方策（人日）		2,967	3,068	802	780	740	708	671
	②－①（人日）		1,558	1,498	0	0	0	0	0
実 績	量の見込み （人日）	低学年	904	758					
		高学年	272	128					
	確保方策（人日）		2,967	3,068					
実績—計画	量の見込み （人日）	低学年	－111	－300					
		高学年	－122	－384					
	確保方策（人日）		0	0					
※実績（送迎のみ）			689	566					
※実績（送迎と預かり）			161	290					
※実績（預かりのみ）			77	29					

3.実施状況と評価、今後の取組内容

評価	年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	評価区分	B	B	
令和6年度 実施状況	令和6年度利用状況(延べ人数:低学年+高学年)885人(その他育児支援1人) 主な活動内容としては、育成クラブや習い事への迎え及び帰宅後の預かりなどを行いました。			
令和7年度事業内容と 今後の課題	引き続き、援助の担い手の人材養成や会員の確保に努めるとともに、提供会員及び依頼会員の双方が安心のもとに継続して活動・利用できるよう、円滑かつ適切な利用調整を行っていきます。			

※評価区分 A:B評価に加え**成果を向上させる取り組み**を実施した場合
 B:事業目標を達成できた場合(80%~100%)
 C:事業目標を一部達成できた(できなかった)場合(80%以下)
 D:事業未実施、廃止、統合
 ※令和4年度以降の基準ですので、それまでの評価基準とは異なります。

事業名	⑦子育て短期支援事業 (こどもショートステイ)	担当課	こども課	第3期計画該当ページ
				53ページ

1. 計画内容

事業概要	保護者が病気、看護、出産、出張、育児疲れなどで、一時的にこどもの養育が困難になったときに、保護者に代わり施設においてこどもを養育します。
------	--

2. 計画値・実績値

		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
計画	①量の見込み(人日)	431	431	739	737	756	737	714
	②確保方策(人日)	1,080	1,077	1077	1,077	1,080	1,077	1,077
	②-①(人日)	649	646	338	340	324	340	363
実績	量の見込み(人日)	561	566					
	確保方策(人日)	1080	1077					
実績 一計画	量の見込み(人日)	130	135					
	確保方策(人日)	0	0					
※実利用者数		41	52					

3. 実施状況と評価、今後の取組内容

評価	年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	評価区分	B	B	
令和6年度 実施状況	市内の複合福祉施設(東野パティオ)において、トワイライトステイ等と併せ事業を実施しています。身近に子どもを預けることができる親族等がない市民にとってのセーフティーネットとしての機能を果たすことができおり、こども家庭支援センターとも連携し、児童虐待に至る前の育児疲れの解消方策としても機能しています。			
令和7年度事業内容と 今後の課題	こども家庭支援センターと連携を図りながら、引き続き、児童の養育が一時的に困難となった家庭の福祉の向上に努めていきます。			

※評価区分 A: B評価に加え**成果を向上させる取り組み**を実施した場合
 B: 事業目標を達成できた場合(80%~100%)
 C: 事業目標を一部達成できた(できなかった)場合(80%以下)
 D: 事業未実施、廃止、統合
 ※令和4年度以降の基準ですので、それまでの評価基準とは異なっています。

事業名	⑧延長保育事業	担当課	保育幼稚園課	第3期計画該当ページ
				54ページ

1.計画内容

事業概要	認可保育所等において、保護者の就労形態、通勤時間などにより、基本保育時間内にお迎えができない場合、基本保育時間の前後に保育時間を延長してこどもを預かります。
------	--

2.計画値・実績値

		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
計画 (4月1日時)	①量の見込み(人)	2,856	2,856	3,203	3,191	3,216	3,208	3,187
	②確保方策(人)	4,282	4,282	4,067	4,067	4,067	4,067	4,067
	②-①(人)	1,426	1,426	864	876	851	859	880
実績	量の見込み(人)	3,589	3,568					
	確保方策(人)	4,135	4,067					
実績—計画	量の見込み(人)	733	712					
	確保方策(人)	-147	-215					
※施設数		43	42					

3.実施状況と評価、今後の取組内容

評価	年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	評価区分	B	A	
令和6年度 実施状況	認可保育園において、保護者の就労形態、通勤時間などにより、基本保育時間内にお迎えができない場合、基本保育時間の前後に保育時間を延長し、市内保育所等(42施設)にて利用希望の子どもを預かりました。			
令和7年度事業内容と 今後の課題	市内保育所等(42施設)にて、引き続き延長保育事業を実施し、保護者の利便性向上を図っていきます。			

※評価区分 A: B評価に加え**成果を向上させる取り組み**を実施した場合
 B: 事業目標を達成できた場合(80%~100%)
 C: 事業目標を一部達成できた(できなかった)場合(80%以下)
 D: 事業未実施、廃止、統合
 ※令和4年度以降の基準ですので、それまでの評価基準とは異なります。

事業名	⑨病児・病後児保育事業	担当課	保育幼稚園課	第3期計画該当ページ
				55ページ

1.計画内容

事業概要	病気や病気回復期のため、集団保育や家庭での保育が困難なこども(病児・病後児)を病院や保育所に併設された施設で預かります。
------	--

2.計画値・実績値(各年4/1時点)

		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
計画	①量の見込み(人日)	1,525	1,600	1,690	1,685	1,727	1,684	1,633
	②確保方策(人日)	1,621	1,621	5,178	5,178	5,178	5,178	5,178
	②-①(人日)	96	21	3,488	3,493	3,451	3,494	3,545
実績	量の見込み(人日)	1,304	1,226					
	確保方策(人日)	5,178	5,178					
実績ー計画	量の見込み(人日)	-221	-374					
	確保方策(人日)	3,557	3,557					
※施設数		4	4					
※病児・病後児保育登録者		4,638	5,101					

3.実施状況と評価、今後の取組内容

評価	年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	評価区分	A	A	
令和6年度 実施状況	病児・病後児保育実施施設 ・順天堂大学医学部附属浦安病院病児・病後児保育室「みつばち うらやす」:363人 ・浦安中央病院「ぱんだルーム」:761人 ・ポピンズナーサリースクール新浦安「アクアルーム」:88人 ・ポピンズナーサリースクール浦安「ポピンズルーム」:14人			
令和7年度事業内容と 今後の課題	令和6年度に引き続き、病児・病後児保育実施施設4施設で病児・病後児保育を実施します。			

※評価区分 A:B評価に加え**成果を向上させる取り組み**を実施した場合
 B:事業目標を達成できた場合(80%~100%)
 C:事業目標を一部達成できた(できなかった)場合(80%以下)
 D:事業未実施、廃止、統合
 ※令和4年度以降の基準ですので、それまでの評価基準とは異なります。

事業名	⑩放課後児童健全育成事業	担当課	青少年課	第3期計画該当ページ
				56ページ

1.計画内容

事業概要	保護者が就労等により昼間家庭にいない小学生児童を対象に、放課後等の時間帯に、家庭に代わる生活の場を提供します。
------	---

2.計画値・実績値(各年4/1時点)

			令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
計画 （4月1日時点）	①量の見込み （人）	1年生	754	754	722	680	627	625	572
		2年生	703	691	718	673	633	584	583
		3年生	619	610	604	606	569	534	492
		4年生	473	473	466	456	456	422	399
		5年生	186	198	220	222	223	221	205
		6年生	90	84	96	94	95	98	93
		合計	2,825	2,810	2,826	2,731	2,603	2,484	2,344
	②確保方策 （人）	1年生	754	754	722	680	627	625	572
		2年生	703	691	718	673	633	584	583
		3年生	619	610	604	606	569	534	492
		4年生	473	473	466	456	456	422	399
		5年生	186	198	220	222	223	221	205
		6年生	90	84	96	94	95	98	93
		合計	2,825	2,810	2,826	2,731	2,603	2,484	2,344
	参考 （人）	施設定員	2,824	2,824	2,776	2,776	2,776	2,776	2,776
		最大入所決定者数	3,389	3,389	3,317	3,317	3,317	3,317	3,317
	②-①（人）	1年生	－	－	0				
		2年生	－	－	0				
		3年生	－	－	0				
		4年生	－	－	0				
		5年生	－	－	0				
		6年生	－	－	0				
		合計	－	－	0				
実績 （5月1日時点）	量の見込み （人）	1年生	776	770	783				
		2年生	759	777	759				
		3年生	628	704	726				
		4年生	479	532	585				
		5年生	236	307	324				
		6年生	98	131	186				
		合計	2,976	3,221	3,363				
	確保方策 （人）	1年生	776	770	783				
		2年生	759	777	759				
		3年生	628	704	726				
		4年生	479	532	585				
		5年生	236	307	324				
		6年生	98	131	186				
		合計	2,976	3,221	3,363				
	参考 （人）	施設定員 （クラブ数・室数）	2,756 （17/72室）	2,776 （17/74室）	2,776 （17/74室）				
		最大入所決定者数	3,293	3,317	3,481				
実績－計画		量の見込み（合計）	151	411	537				
		確保方策（合計）	151	411	537				

3.実施状況と評価、今後の取組内容

評価	年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	評価区分	B	A	
令和6年度実施状況	児童育成クラブの入会児童数が増えたことから、教育委員会や学校の協力のもと、小学校の空いている施設等を借用することにより待機児童を出すことなく運営を行うことが出来ました。			
令和7年度事業内容と今後の課題	入会児童数が増加していることから、一部のクラブでは小学校の空いている施設などを借用して運営しているところだが、今後も児童育成クラブに入会する児童数が増加傾向であり新たなクラブを整備する用地がないことが課題です。			

※評価区分 A: B評価に加え 成果を向上させる取り組み を実施した場合 B: 事業目標を達成できた場合(80%~100%) C: 事業目標を一部達成できた(できなかった)場合(80%以下) D: 事業未実施、廃止、統合 ※令和4年度以降の基準ですので、それまでの評価基準とは異なっています。

事業名	⑪妊婦健康診査	担当課	母子保健課	第3期計画該当ページ
				57ページ

1.計画内容

事業概要	妊婦健康診査の徹底を図り、異常の早期発見に努め、適切な治療や指導等により、母体及び胎児の健康を促すことを目的として、妊娠期間中に合計 14 回まで、健康診査受診票を利用して医療機関で健診を受けることができます。 受診票を利用できない医療機関で受診した場合は、健康診査費用の助成をします。
------	--

2.計画値・実績値

			令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
計 画	量の見込み	受診票配付件数(件)	1,150	1,150	1,098	1,137	1,186	1,200	1,215
		1人あたりの検診回数 (回)	14	14	14	14	14	14	14
		健診回数 (受診人数×1人あた りの受診回数:回)	16,200	16,200	15,372	15,918	16,604	16,800	17,010
実 績	量の見込み	受診票配付件数(件)	1,017	1,050					
		健診回数 (回)	11,709	12,022					
実績—計画		受診票配付件数(件)	-133	-100					
		健診回数 (回)	-4,491	-4,178					
※受診率(14回受診:%)			82.2	81.8					

3.実施状況と評価、今後の取組内容

評価	年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	評価区分	B	B	
令和6年度実施状況	妊娠判明後、母子健康手帳交付時に窓口にて妊婦健康診査受診票14回(多胎妊娠の場合は19回)分を交付しました。 転入妊婦に関しても転入前の受診状況に合わせ交付しました。 里帰り出産等で受診票を利用できない医療機関で受診した場合は償還払い対応とし、後日必要書類を持参し申請することにより、健診費用を助成しました。 また、令和5年度より、低所得(住民税非課税世帯又は同等の所得水準)妊婦に対して初回産科受診料の費用助成(上限1万円)を行っています。令和6年度は3名に対し23,540円の助成を行いました。			
令和7年度事業内容と今後の課題	引き続き母子健康手帳交付時に妊婦健康診査の必要性を伝え受診を促します。 全国の医療機関で妊婦健康診査を受診出来るようにし、受診票を利用できない医療機関で受診した場合、受診票の助成範囲内で費用を助成します。			

※評価区分 A:B評価に加え**成果を向上させる取り組み**を実施した場合
 B:事業目標を達成できた場合(80%~100%)
 C:事業目標を一部達成できた(できなかった)場合(80%以下)
 D:事業未実施、廃止、統合
 ※令和4年度以降の基準ですので、それまでの評価基準とは異なります。

事業名	⑫実費徴収に係る補足給付を行う事業	担当課	保育幼稚園課	第3期計画該当ページ
				57ページ

1.計画内容

事業概要	生活保護受給世帯のこどもが、特定教育・保育施設等の利用をする際に、必要とされる日用品・文房具等の購入に要する費用又は行事への参加に要する費用の補助を行います。
------	---

2.実施状況と評価、今後の取組内容

評価	年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	評価区分	A	A	
令和6年度 実施状況	生活保護受給者世帯の子どもが、特定教育・保育施設等の利用をする際に、必要とされる日用品・文房具等の購入に要する費用又は行事への参加に要する費用の補助を行いました。 また、私立幼稚園に子どもが通園する低所得世帯等の保護者に副食費の補助を行いました。			
令和7年度事業内容と 今後の課題	引き続き園および保護者への事業周知を徹底し、事業を継続して保護者の経済的負担軽減を図っていきます。			

事業名	⑬多様な主体が本制度に参入することを促進するための事業	担当課	保育幼稚園課	第3期計画該当ページ
				57ページ

1.計画内容

事業概要	教育・保育施設等に新規参入する事業者に対して、保育士OB等の事業経験のある者を活用した巡回支援等（事業運営や事業実施に関する支援及び実地支援、相談助言等）を行います。多様な集団活動事業を利用する幼児の保護者に対し、負担した利用料について給付を行います。
------	--

2.実施状況と評価、今後の取組内容

評価	年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	評価区分	A	A	
令和6年度 実施状況	事業を利用する幼児の保護者に対し、負担した利用料について給付を行いました。			
令和7年度事業内容と 今後の課題	多様な集団活動事業の利用支援事業については引き続き事業の周知を行い、保護者の経済的負担軽減を図っていきます。			

※評価区分 A: B評価に加え**成果を向上させる取り組み**を実施した場合
 B: 事業目標を達成できた場合（80%～100%）
 C: 事業目標を一部達成できた（できなかった）場合（80%以下）
 D: 事業未実施、廃止、統合
 ※令和4年度以降の基準ですので、それまでの評価基準とは異なります。

事業名	⑭子育て世帯訪問支援事業	担当課	こども家庭支援センター 母子保健課	第3期計画該当ページ
				58ページ

1. 計画内容

事業概要	家事・子育て等に対して不安や負担を抱える子育て家庭、妊産婦、ヤングケアラー等の支援が必要な家庭を訪問支援員が訪問し、不安や悩みを傾聴するとともに、家事や子育ての支援を行います。
------	--

2. 計画値・実績値

			令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
計画	量の見込み	①対象世帯数(人日)	540	540	540	600	600
	確保方策	②世帯数(実)(人日)	540	540	540	600	600
	②－①(人日)		0	0	0	0	0

3. 今後の事業予定・取組内容

令和7年度事業内容と今後の課題	令和6年4月にこども家庭センターを設置し、母子保健課との連携を深め、母子保健と児童福祉が一体となって事業を進めています。 子育てに負担を感じている世帯に対し、必要性を見極めて支援していくことで、重篤な虐待を防ぐことを目的に、従来どおり、養育困難な家庭への家事支援や登園支援をするためのヘルパー派遣を実施するとともに、令和7年度からはヤングケアラー支援のためのヘルパー派遣を実施します。
-----------------	---

事業名	⑮児童育成支援拠点事業	担当課	こども家庭支援センター	第3期計画該当ページ
				58ページ

1.計画内容

事業概要	養育環境等に課題を抱える、家庭や学校に居場所のない児童等に対して、居場所となる場を開設し、抱える課題に応じて生活習慣の形成や学習のサポート、相談支援等を行い、児童及び家庭のアセスメントを通して、個々の児童の状況に応じた包括的な支援を行います。
------	---

2.計画値・実績値

			令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
計画	量の見込み	①対象児童数(実人数)(人)	20	20	20	20	20
	確保方策	②児童数(実人数)(人)	0	5	10	10	10
		実施施設数	0	1	1	1	1
	②－①(人)		-20	-15	-10	-10	-10

3.今後の事業予定・取組内容

令和7年度事業内容と今後の課題	本事業の実施予定場所である新浦安プラザマーレ3Fの改修について、関係課と調整を実施します。 また、改修等のスケジュールと並行して、委託事業者の選定、必要備品等の準備を進めます。
-----------------	---

事業名	⑩親子関係形成支援事業	担当課	母子保健課 こども家庭支援センター こども発達センター	第3期計画該当ページ
				59ページ

1. 計画内容

事業概要	こどもとの関わり方や子育てに悩み・不安を抱えた保護者が、親子の関係性や発達に応じたこどもとの関わり方等の知識や方法を身に付けるため、保護者に対して、講義、グループワーク、個別のロールプレイ等を内容としたペアレントトレーニングを提供することにより、健全な親子関係の形成を支援するとともに、同じ悩みや不安を抱える保護者同士の横のつながりの構築を支援します。
------	--

2. 計画値・実績値

			令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
計画	量の見込み	①対象児童数(実世帯数)	30	30	30	30	30
	確保方策	②児童数(実世帯数)	16	16	16	20	20
	②－①(人)		-14	-14	-14	-10	-10

3. 今後の事業予定・取組内容

令和7年度事業内容と今後の課題	事業内容: 応用行動分析の考え方を基に、子育ての知識や関わり方を講義やグループワーク等を通して学ぶプログラム(ペアレントトレーニング)を提供する。また、ペアレントトレーニングのオンライン講座(単発)を開催します。 今後の課題: ①保護者の困り感が顕在化してきたからの介入が多く、早期からの介入方法、②共働き家庭等、保護者の忙しさに合わせた参加しやすいプログラムの提供方法について課題があります。 こども発達センターにおいてこれまでも実施している、通所している利用者のうち年少から小学2年生の保護者を対象に、子どもの良いところを伸ばすアイデアや工夫を講義やグループワークを通じて考えていくペアレントトレーニングプログラムを引き続き実施します。 また、確保方策が出来ていない要保護児童及び要支援児童世帯について、令和8年度にかけてニーズの把握、新規事業化の必要可否について検討します。なお、検討期間中は、従来どおり個別での親子の関係性や発達に応じたこどもとの関わり方について、こども家庭センターが対応していきます。
-----------------	---

事業名	⑰乳児通園支援制度(こども誰でも通園制度)	担当課	保育幼稚園課	第3期計画該当ページ
				60ページ

1. 計画内容

事業概要	保育所、認定こども園等の余裕定員等を活用し、満3歳未満で保育所等に通っていないこどもを対象とし、月一定時間までの利用可能枠の中で、親の就労要件を問わず保育を行います。
------	---

2. 計画値・実績値

				令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
計画	量の見込み	①必要受入時間数	0歳児	1,409	1,484	1,507	1,535
			1歳児	2,283	2,581	2,452	2,601
			2歳児	6,926	7,184	7,043	6,879
			合計	10,618	11,249	11,002	11,015
		②必要定員数	0歳児	47	49	50	51
			1歳児	38	43	41	43
			2歳児	115	120	117	115
			合計	200	212	208	209
	確保方策	③受入可能時間数 (整備量)	0歳児	1,409	1,484	1,507	1,535
			1歳児	2,283	2,581	2,452	2,601
			2歳児	6,926	7,184	7,043	6,879
			合計	10,618	11,249	11,002	11,015
		④利用定員数 (整備量)	0歳児	47	49	50	51
			1歳児	38	43	41	43
			2歳児	115	120	117	115
			合計	200	212	208	209
	受入時間・定員 余裕	受入時間余裕 ③-①	0歳児	0	0	0	0
			1歳児	0	0	0	0
			2歳児	0	0	0	0
			合計	0	0	0	0
		受入定員余裕 ④-②	0歳児	0	0	0	0
			1歳児	0	0	0	0
			2歳児	0	0	0	0
			合計	0	0	0	0

3. 今後の事業予定・取組内容

令和7年度事業内容 と 今後の課題	令和7年度は、令和8年度の事業実施に向け、条例を制定するとともに、利用者の利便性の向上が図れるよう乳児等通園支援制度を確立していきます。 今後の課題は、既存の各園において、保育士や専用の床面積を確保する必要があることから、保育士や施設に余裕のない中で、いかに本事業を展開していくかという点です。
-------------------------	--

事業名	⑩産後ケア事業	担当課	母子保健課	第3期計画該当ページ
				61ページ

1. 計画内容

事業概要	出産医療機関を退院後、心身ともに不安定になりやすい時期に、助産師等が母体・乳児のケア、育児のサポートなどを行い、産後も安心して子育てができる支援体制の確保を行います。
------	---

2. 計画値・実績値

			令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
計 画	量の見込み	宿泊型	535	554	578	585	592
		デイサービス型	1751	1612	1681	1700	1722
		アウトリーチ型	57	111	116	117	119
	確保方策 (定員数)	宿泊型	535	554	578	585	592
		デイサービス型	1751	1612	1681	1700	1722
		アウトリーチ型	57	111	116	117	119
	確保方策 (施設数)	宿泊型	4	4	4	4	4
		デイサービス型	3	3	3	3	3
	確保方策(実施機関)	アウトリーチ型	1	1	1	1	1

3. 実施状況と評価、今後の取組内容

令和7年度事業内容と今後の課題	令和7年度より宿泊型産後ケア事業については、「支援の必要性の高い利用者の受け入れ加算」を開始し、産後ケアを希望する全ての産婦が利用できるように環境を整備します。 アウトリーチ型については、令和7年9月より予約、10月より開始予定です。
-----------------	--

事業名	⑱妊婦等包括相談支援事業	担当課	母子保健課	第3期計画該当ページ
				62ページ

1.計画内容

事業概要	妊娠期から子育て期まで、妊産婦の多くが不安や負担感を抱えている時期に、身近な場所で相談に応じ、多様なニーズに応じた支援につなぐ伴走型の相談支援を実施します。
------	--

2.計画値・実績値

			令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
計 画	量の見込み	妊娠届出数(件)	-	-	1,008	1,051	1,063	1,077	1,094
		1組あたりの面談回数(回)	-	-	2	2	2	2	2
		面談実施回数(妊娠届出数×1組あたりの回数:回)	-	-	2,016	2,102	2,126	2,154	2,188
	確保方策	面談実施回数(回)	-	-	2,016	2,102	2,126	2,154	2,188
実 績	量の見込み	妊娠届出数(件)	1,017	—					
		面談実施回数(回)	1,884	—					
実績—計画		妊娠届出数(件)	-	1,050					
		面談実施回数(回)	-	1,973					
1人当たり面談回数(平均)		面談実施回数(回)	2	2					

3.実施状況と評価、今後の取組内容

評価	年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	評価区分		B	
令和6年度実施状況	妊婦等包括相談支援事業の開始は令和7年度からとなりますが、令和6年度以前も同様の相談支援事業を行っていたことから、これまでの実績値を参考値として報告しております。			
令和7年度事業内容と今後の課題	妊婦の産前産後期間における身体的・精神的負担を軽減し妊婦や胎児である子どもの保健及び福祉の向上に寄与することを目的として「妊婦のための支援給付」と併せて行う伴走型相談支援です。子どもの出生後から1歳6カ月健診までの間母子が来庁するきっかけが少ないため、令和7年8月より新たな接点づくりの取り組みを開始します。今後、その効果を検証する必要があります。			

※評価区分 A:B評価に加え**成果を向上させる取り組み**を実施した場合
 B:事業目標を達成できた場合(80%~100%)
 C:事業目標を一部達成できた(できなかった)場合(80%以下)
 D:事業未実施、廃止、統合
 ※令和4年度以降の基準ですので、それまでの評価基準とは異なっています。